第１問　次の問い（**問１～７**）に答えよ。

問１　漢字と読みの組み合わせとして**誤っているもの**を，次の**a**～**e**のうちから，一つ選べ。

1

a　彩る　― あやどる

b　鎮める ― しずめる

c　詠む　― よむ

d　栄える ― はえる

e　倣う　― ならう

問２　対義語の組み合わせとして**誤っているもの**を，次の**a**～**e**のうちから，一つ選べ。　2

a　韻文 ― 散文

b　概略 ― 詳細

c　賢明 ― 暗愚

d　綿密 ― 入念

e　急性 ― 慢性

問３　次の**a**～**e**の文のうち，下線部の慣用的な表現が正しいものを一つ選べ。　3

a　都合が悪いのか，奥歯に物が絡んだ言い方をしていた。

b　彼が頭角をつきだしてきたのは最近のことだ。

c　久々の休日は，遠出して羽を広げた。

d　昔のことは早く水を打ってほしい。

e　宿題が終わらなくて尻に火がついている。

問４　敬語の使い方として正しいものを，次の**a**～**e**のうちから，一つ選べ。　4

a　先生がテストの解説をいたしました。

b　私は明日，大阪へいらっしゃいます。

c　先生は最初の授業で，講義の目的をお示しされました。

d　お客様，こちらの展示をご覧ください。

e　先生は私の作文を拝読しました。

問5　次のa～eの文のうち，表現として最も適当なものを一つ選べ。　5

a　喝采を浴びれたのは練習の成果だ。

b　そちらの本を読まさせてください。

c　定額で音楽がたくさん聞けれる。

d　この水族館ではイルカショーが見れる。

e　そのリモコンで音量を変えられます。

問6　熟語の意味の説明として**誤っているもの**を，次のa～eのうちから，一つ選べ。　6

a　千秋楽 ― 気が遠くなるほどの長い時間。

b　未曽有 ― 歴史上今まで起きなかったこと。

c　形而上（けいじじょう） ― 形を持たない理念的なもの。

d　桃源郷 ― 俗世を離れた夢のような世界。

e　過渡期 ― 物事が移り変わる間の時期。

問7　次の文の（　　）に入ることばとして最も適当なものを，あとのa～eのうちから，一つ選べ。　7

球技大会での彼の活躍は，（　　）ヒーローのようだった。

a　もしや

b　さながら

c　あながち

d　それほど

e　いわんや

第２問　次の文章を読んで，下の問い（**問１～４**）に答えよ。

学校教育のなかで，ディベート形式の討論が近年流行（はや）っている。立場を二つに分けて，お互いの主張を言い合う。相手の弱点をつき，追い込む。（中略）

ディベートで論理力を養う，という(ア)シュシは理解できないわけではない。しかし，A論理性のみを最上の価値とするのでは，コミュニケーション力養成のトレーニングとしては限界がある。論理には抜け道が多くある。論理力の低い者同士では，単なる水掛け論になりやすい。論理的な能力を駆使して，論点をごまかし，相手を言い負かすことは，習熟してみればさほど難しいことではない。裁判のように勝ち負けが重要な場合には，こうした能力が重要視される。相手の論理のミスを突き，相手が本当に言いたいこととは別の弱点を攻め立てる。そして議論を有利に運ぶ。こうした技術は，たしかに社会のある場面で求められることはある。しかし，私が思うには，ふつうの社会人の場合，仕事の大半はこのようなディベート能力で行うものではない。相手の言い間違いをうまく利用したり，論理をうまくすり替えて議論を有利に運んだりすることは，仕事の場面ではさして意味がない。相手をやりこめたり，騙（だま）してするような仕事のやり方では，あとでトラブルが起きる。

本当に求められている能力は，相手の言いたいことを的確につかむ能力である。要約力と言ってもいい。出来得れば，相手がすべて言葉で表現し切れていない事柄までも，想像力や推測力でつかみ取り，「おっしゃりたいのは……ということではないでしょうか」と提案する力が欲しい。自分の言いたいことをしっかりと受け止めてくれたと感じることで，議論は一つ基礎が踏み固められ，次へ進む。相手の穴をつつき合う議論とは，方向性が［　　］逆の姿勢である。

お互いに相手の言いたいことをしっかりとつかみ合い，よりよいアイディアを出していく。これがB クリエイティブな対話というものだ。相手を言い負かすだけの議論は，一見華々しいようでも生産的ではない。

お互いの利益をひたすらぶつけ合い，つり合いを測って妥協点を見いだす，というやり方が有効なケースもたしかにある。それは先ほど述べた裁判や，利益がぶつかり合う状況である。しかし，まず基礎としてつけるべきコミュニケーション力は，そのような殺伐たる，戦い続ける討論の力ではない。お互いに意味をしっかりつかみ合い，同じチーム，パートナーとして，トラブルに向き合う。言葉を交わし合い，行き詰まりを共有しながら，新しい意味が生まれるのを待つ。それも，ただ待つのではない。言葉の端々をきっかけにして，脳の中のすべての情報をフル(イ)カドウさせ，新しい意味を模索するのである。

（齋藤（さいとう） 孝（たかし）『コミュニケーション力』による）

問 1　下線部（ア）・（イ）の漢字を，次の各群の a ～ e のうちから，それぞれ一つずつ選べ。なお，解答番号は（ア）が 8 ，（イ）が 9 とする。

（ア）　シュシ　8

a　詞

b　志

c　旨

d　司

e　資

（イ）　カドウ　9

a　可

b　華

c　貨

d　加

e　稼

問 2　［　　］に補うことばとして最も適当なものを，次の a ～ e のうちから，一つ選べ。　10

a　たびたび

b　よしんば

c　けっして

d　まさか

e　まるで

問 3　下線部Ａ「論理性のみを最上の価値とするのでは，コミュニケーション力養成のトレーニングとしては限界がある」とあるが，筆者がそう考えるのはなぜか。その説明として最も適当なものを，次の **a** ～ **d** のうちから，一つ選べ。 **11**

a　考えを論理的に述べることや相手の論理を理解することはひとつの技術であるが，ディベートのように相手に勝つことを目指す必要がある場合には，その技術を攻撃的に使うことばかりがうまくなってしまうから。

b　考えを論理的に述べることや相手の論理を理解することはひとつの技術であるが，実際の社会では人の感情が優先されるため，論理的な技術を求められる場面はほとんどなく，論理力を鍛えても役に立たないから。

c　考えを論理的に述べることや相手の論理を理解することは生まれつきの能力であるため，トレーニングで鍛えることはできず，レベルの低い者同士では互いの欠点をつつき合う水掛け論しかできないから。

d　考えを論理的に述べることや相手の論理を理解することは生まれつきの能力であるため，論理力の高い者が他者の意図を汲(く)む練習にはなるが，論理力の低い者が複雑な論理を理解する助けにはならないから。

問 4　下線部Ｂ「クリエイティブな対話」とあるが，これはどのようなものか。その説明として最も適当なものを，次の **a** ～ **d** のうちから，一つ選べ。 **12**

a　相手の言葉を正しく理解するだけでなく，相手の意図をより的確に表現できる言葉を模索しながら議論を進めることで，誤解や行き違いをなくして客観的な正しさを保証し，誰もが納得できる明白な表現を生み出すような対話。

b　相手の言葉を正しく理解するだけでなく，相手が言葉で表現しきれていない意図までも推し量り，隠れた意図を引き出す手助けをすることで，互いの思考を活性化させて共に新しい発想を生み出すような対話。

c　相手の言葉を正しく理解するだけでなく，論理の正確さにこだわらず議論することで互いの仲を深め，主張を徹底的にぶつけ合えるようになることで，自由な発想で両者にとって未知の概念を生み出すような対話。

d　相手の言葉を正しく理解するだけでなく，誤解が起こらないよう自分の意見を明確に示して相手の意見とすり合わせることで，双方の利益を実現する道を模索し，どちらも得をするアイディアを生み出すような対話。

第３問　次の問い（**問１～６**）に答えよ。

問１　金融の世界では,「72の法則」というものが知られている。借金をして，金利が複利（利子にも利子がつく）の場合に，返済する期間の目安を求めることができる。

72 ÷（金利）＝（返済するお金が２倍になる期間）

例えば，年利12％でお金を借りたとき，72 ÷ 12 ＝ 6 となるので，約６年で返済するお金が借りた金額の２倍になる。また，この式は，複利で利子のつく銀行にお金を預けたとき，何年で預金が２倍になるかの目安にもなる。年利2.4％の預金Ａと年利２％の預金Ｂで元金の２倍になるまでの年数の差が何年になるか，72の法則を使って求めよ。正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。　**13**

a　2

b　4

c　6

d　8

e　12

問２　全体集合を $U = \{x \mid x$ は20以下の正の整数$\}$とし，２つの部分集合 $A = \{x \mid x$ は20以下の素数$\}$，$B = \{2,\ 3,\ 4,\ 5,\ 8\}$がある。集合 $\overline{A} \cap B$ のすべての要素の和として正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。　**14**

a　5

b　6

c　10

d　12

e　14

問 3　p，q を実数の定数とする。

「$x = 2$ は $x^2 + px + q = 0$ であるための必要十分条件」

が成り立つとき，p，q の値として正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。 $\boxed{15}$

a　$2p + q + 4 = 0$ を満たすすべての実数

b　$p = -4$，$q = 4$

c　$p = -2$，$q = 0$

d　$p = 0$，$q = -4$

e　$p = 4$，$q = 4$

問 4　2 次関数 $y = -2x^2 + 4x + 3$ $(0 \leqq x \leqq 3)$ の最大値と最小値をそれぞれ M，m とするとき，$M - m$ の値として正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。 $\boxed{16}$

a　2

b　4

c　6

d　8

e　10

問 5　$\sin 60^\circ \times \cos 135^\circ \times \tan 150^\circ \times \sin 45^\circ$ の値として正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。 $\boxed{17}$

a　$-\dfrac{3}{4}$

b　$-\dfrac{\sqrt{3}}{4}$

c　$\dfrac{1}{4}$

d　$\dfrac{\sqrt{2}}{4}$

e　$\dfrac{1}{2}$

問 6　次の５つのデータの標準偏差として正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。

18

$-4,\ -1,\ 2,\ 5,\ 8$

a　$2\sqrt{3}$

b　$\sqrt{15}$

c　4

d　$3\sqrt{2}$

e　$2\sqrt{6}$

第４問　次の文章を読んで，下の問い（**問１～２**）に答えよ。

ＡさんとＢさんの所持金の比は，６：７である。この２人が，自分の所持金の全部を使って，Ａさんは１本 X 円の鉛筆を，Ｂさんは１本 Y 円の鉛筆を，それぞれ，おつりがないように，買えるだけ購入する。

問１　ＡさんとＢさんのそれぞれが購入したそれぞれの鉛筆の１本あたりの値段の比（X：Y）が１：１であるとする。ＡさんとＢさんの購入した鉛筆の本数の比として正しいものを，次の **a**～**e** のうちから，一つ選べ。　**19**

a　１：１

b　６：７

c　７：６

d　36：49

e　49：36

問２　ＡさんとＢさんのそれぞれが購入したそれぞれの鉛筆の１本当たりの値段の比（X：Y）が３：２であるとする。ＡさんとＢさんの購入した鉛筆の本数の比として正しいものを，次の **a**～**e** のうちから，一つ選べ。　**20**

a　４：７

b　７：４

c　７：９

d　９：14

e　14：９

第５問　次の文章を読んで，下の問い（**問１～２**）に答えよ。

三角錐（すい）OABC があり，AB = 5，BC = 8，∠ABC = 60° である。

問１　辺 AC の長さとして正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。　**21**

a　5

b　$5\sqrt{2}$

c　6

d　7

e　$7\sqrt{3}$

問２　三角錐 OABC の体積を $\frac{20\sqrt{6}}{3}$ とする。頂点 O から平面 ABC に垂線 OH を引くとき，OH の長さとして正しいものを，次の **a** ～ **e** のうちから，一つ選べ。　**22**

a　$\frac{1+4\sqrt{3}}{4}$

b　2

c　$2\sqrt{2}$

d　$\frac{10\sqrt{3}}{3}$

e　$\frac{10\sqrt{6}}{3}$

第６問　次の文章を読んで，下の問い（**問１～２**）に答えよ。

10本のくじの中にＡ賞が１本，Ｂ賞が１本，はずれが８本入っている。このくじを１本引いて，結果を確かめてからくじを戻し，再びくじを引くことを繰り返す。ただし，それぞれの賞は何回でも当たるものとする。

問１　２回くじを引いて，どの賞も当たらない確率をｐとしたとき，ｐが満たす不等式として正しいものを，次の**a**～**d**のうちから，一つ選べ。　**23**

a　$0 < p < \frac{1}{4}$

b　$\frac{1}{4} \leqq p \leqq \frac{1}{2}$

c　$\frac{1}{2} \leqq p \leqq \frac{3}{4}$

d　$\frac{3}{4} \leqq p < 1$

問２　２回くじを引いて，Ａ賞とＢ賞がそれぞれ１回ずつ当たる確率をｑとしたとき，ｑが満たす不等式として正しいものを，次の**a**～**e**のうちから，一つ選べ。　**24**

a　$0 < q < 0.015$

b　$0.015 \leqq q < 0.03$

c　$0.03 \leqq q < 0.045$

d　$0.045 \leqq q < 0.06$

e　$0.06 \leqq q < 0.075$

第７問　次の問い（**問１～６**）に答えよ。

問１　次の文の（　　）に入る最も適当なものを，あとの**a**～**d**のうちから，一つ選べ。 **25**

Would you like（　　）cup of tea?

a　other

b　another

c　others

d　the others

問２　次の文の（　　）に入る最も適当なものを，あとの**a**～**d**のうちから，一つ選べ。 **26**

I am looking forward to（　　）you soon.

a　see

b　saw

c　seen

d　seeing

問３　次の文の（　　）に入る最も適当なものを，あとの**a**～**d**のうちから，一つ選べ。 **27**

I asked her（　　）she knew Tom's new address, but she said no.

a　if

b　when

c　how

d　where

問４　次の文の（　　）に入る最も適当なものを，あとの**a**～**d**のうちから，一つ選べ。 **28**

（　　）I was tired, I finished all of my homework.

a　But

b　Since

c　Though

d　If

問 5　次の文の下線部と最もよく似た意味を持つものはどれか。あとの **a** ～ **d** のうちから，正しいものを一つ選べ。 **29**

A lot of children <u>look up to</u> their favorite sports stars.

a　admire

b　overlook

c　become

d　watch

問 6　次の文において，[　　] の中の語（句）を並べ替えて意味の通る英文とするとき，[　　] 内で 3 番目に来るのはどれか。あとの **a** ～ **e** のうちから，正しいものを一つ選べ。 **30**

My dad will probably [the station, up, pick, at, me] because he is not working today.

a　the station

b　up

c　pick

d　at

e　me

第８問　次の会話文を読み，下の問い（**問１～３**）において，本文の内容に一致する最も適当なものを，それぞれ下の**a**～**d**のうちから，一つずつ選べ。

Waiter：Are you ready to order?
Rob　：Yes. I will have an iced tea.
Waiter：Thank you, Sir. And for you, Madam?
Cindy：I'm going to have your espresso.
Waiter：Certainly.
Rob　：Wait? There's no espresso on the menu here.
Cindy：Yes, that's right. It's an off-menu item.
Rob　：How do you know? Usually only [　　] customers know about it, right?
Cindy：Yes, but I heard about it from a friend of mine. Would you like to have the same?
Rob　：Let me see… I'll change mine. Just a coffee, please.
Waiter：Certainly. Cream or sugar, sir?
Rob　：Only cream, please.

問１　Why does Cindy know about the off-menu item? **31**

a　Her friend told her about it.
b　She read someone's blog.
c　The other customer ordered it.
d　It's on their website.

問２　What did Rob finally order from the waiter? **32**

a　an iced tea
b　an espresso
c　a coffee
d　ice cream

問 3 Which of the following best fits [ ] ? **33**

a single

b young

c new

d repeat

第９問　次の英文を読み，下の問い（**問１～３**）の **34** ～ **36** にあてはまるものとして最も適当なものを，それぞれ下の **a** ～ **d** のうちから，一つずつ選べ。

At the age of 16, Boyan Slat was scuba diving in the ocean in Greece and was both surprised and sad that he saw more plastic than fish. After that, he began to think about how to solve this problem and eventually came up with an idea for a floating barrier that would collect the plastic using only the power of the ocean currents. At the age of 18, he formed his company, "The Ocean Cleanup." He built his first floating barrier known as "Wilson" in 2018. This barrier was then pulled out to a part of the ocean known as "The Pacific Garbage Patch," which contains huge amounts of plastic waste. His next goal is to create at least 60 of these barriers in order to reduce the amount of harmful plastic in the oceans by 50 percent by 2025.

出典：Browne, C., & Tanabe, Y. *Expanding Horizons*. Nan'un-do, 2019.（一部改変）

問１　According to the passage, Boyan Slat started to **34** after scuba diving in Greece.

a　consider how to make use of the plastic waste

b　develop a new way of collecting the waste in the ocean

c　ask the president of a company to support him

d　worry about the reduced power of ocean currents

問２　The word "Wilson" in the passage refers to **35**.

a　a floating barrier

b　a company name

c　a type of harmful plastic

d　a famous scuba diving spot

問３　According to the passage, Boyan Slat will try to **36** by 2025.

a　invent a new cleaning machine for the ocean

b　go back to Greece for scuba diving again

c　cut the plastic waste in the ocean in half

d　build a new power plant in the Pacific Ocean